

【兵庫県神崎郡神河町】

校務DX計画

1. 校務系及び学習系ネットワークの統合

現在、児童生徒の個人情報等を取り扱う「校務系」と、児童生徒・教職員が教育活動で利用する「学習系」の2つにネットワークを分離しており、インターネット経由からの児童生徒の個人情報にアクセスできない構成としている。今後は、教職員の負担軽減と教育活動の高度化を目指し、ゼロトラストの考え方に基づくアクセス制御によるセキュリティ対策を講じ、ロケーションフリーでの校務系・学習系ネットワークへ接続可能な環境整備を進める。

2. 校務支援システムのクラウド化

現在、校務支援システムはオンプレミス型で運用しており、教務・保健・学籍・成績管理などの業務で利用している。

現行システムのライセンスが令和8年度末までとなっており、次回更新までに、教職員の負担軽減やコミュニケーションの迅速化・活発化できる環境を構築するため、次世代の校務支援システムを含めクラウド化の調査を進める。

3. FAX・押印等の制度・慣行の見直し

令和6年12月に文部科学省が公表した「GIGA スクール構想の下での校務DX化チェックリスト」に基づく自己点検のフォローアップの実施結果によると、ほとんどの学校でまだ保護者・外部とのやりとりで押印・署名が必要な書類があり、クラウド環境を活用した校務DXを大きく阻害していることが指摘されていることから、災害や教育ネットワークの不具合時などFAXの方が電子メール等より効率的な場合を除き、FAX・押印の原則廃止に向けて、継続的に見直しを行う。